

串間市中学校再編意見交換会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 5 月 19 日 (月)	時 間	19 : 00 から 20 : 12 まで
場 所	農村環境改善センター (北方中学校区)		
出席者	保護者 14 名、教職員 22 名、地域住民 5 名、計 41 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、施設係長、指導主事、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	再編に関して民意は尊重されるのか。	民意は市民からのご意見であるので、尊重すべき意見だと考える。	
2	市木地区が陳情書を出したが、受け取らなかったと聞いている。なぜ受け取らなかったのか。	市木地区から市長・教育委員会・議会宛に市木に学校を残したいという陳情書が出されているが、教育委員会ではその受理書を出している。現在、市長部局と協議中であり、回答はしていない。	
3	学校が 1 校になった場合、串間市で行っている内野杯とかの大会があるが、どうなるか。	中体連だけでなく協会主催の大会があるが、現時点では話し合いが行われていないので、今後話し合っていかなければならない課題である。	
4	中学校の時から福島中学校に行きたいなどの小学校の子どもの意見や思いを聞く機会は考えているのか。	北方小学校と秋山小学校の子どもたちは北方中学校に入学するが、部活動とかの理由で福島中学校に行きたいという場合には、許可条件に合致していれば、教育委員会に申請して許可を出すという仕組みはある。しかし、学校再編に関しては校区外の許可条件はないので、現状のままでは厳しい。	
5	学校再編に関して校区外の許可条件の緩和は考えていないのか。	現時点において変更は考えていない。	
6	廃校になったときの学校施設が利用できるようにしてほしい。	学校施設及び学校敷地の利活用は、各地区の自治会の意見や保護者の意見を聞いて、地域住民との協働による運営、その地域の自治会活動やスポーツ・文化の拠点施設として有効活用を図り、地域の防災拠点となるための備品も整備していきたい。その地区の保護者や地域の方にとどのような考え方を持っているか伺いながら、廃校の利活用	

		は進めていきたい。
7	素案資料の13ページにある、平成29年度の1年生の1学級生徒数が28.2とあるのは。	中学1年生は35人の学級編成なので、141人で5学級となり、28.2人となる。2年生、3年生は40人の学級編成となる。
8	串間市独自に30人の学級編成にして市が教職員を増やす計画をしてほしい。	串間市でも一人ひとりの習熟ができるような体制が望ましいので、30人学級を目指して近づける努力はしていかななくてはいけない。
9	何年後かに小学校も再編する計画はあるのか。	基本計画（案）では、小学校は学校再編の対象としないことを明記しており、このことは教育委員会で協議しており、学校再編は中学校としている。
10	もし中学校が1校になった場合、小学校と一緒にやっている運動会はどうなるのか。	小学校の運動会は単独としてやらざるを得ないが、その折に、中学生が何らかの形で部分的に入る配慮はできると考える。
11	新しく中学校を建設する計画はあるのか。	職員室棟と教室棟を改修する計画がある。また、部活動で不足するため新たな建物を建設し、テニスコートをグラウンドに4面計画し、クラブ活動の充実を図る。
12	工事期間中、生徒はどこで学習するのか。	仮設校舎を建設し、支障があるところは移って学習することになる。現在の1年生が授業をしている校舎でもスペースがあるので、学校と協議しながら支障がないよう考えていく。